

## 2022年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
---------	----------------

## I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでいいだけわかりやすく記述してください。

## (1) 資料の整理・公開

**書籍・写真整理:**2022年度は加藤周一宛書簡の整理を行った。

**デジタル・アーカイブ:**23年3月に以下の7冊のノートを新たに公開した。

「日本文学史序説 NOTES」「日本文学史序説下 NOTES」「Japanese Literature (MODERN) Va」「Japanese Intellectual History(MODERN) Vb 近代思想史」「Buddhism in general」「Japanese Buddhism II 本朝高僧」「14days in INDIA and CEYLON 1959」。

## (2) クラウドファンディング・講演会・展示等の活動

**クラウドファンディング:**立命館大学が連携する講談社クラウドファンディング「ブルーボックス・アウトリーチ」クラウドファンディング「誰でも、いつでも、どこからでも—加藤周一の「手稿ノート」をデジタルで読もう！」を実施し、のべ139名の方から総額3,145,000円のご支援をいただいた。いただいた御芳志は「加藤周一『手稿ノート』のデジタルアーカイブ構築費用に充当する。

**2022年度 R2030 推進のためのグラスルーツ実践支援制度採択:**「加藤周一学の確立を目指して—教員・職員・院生・市民による共同研究」という取り組みとして共同研究を申請し、採択された。

**加藤周一記念講演会:**第6回加藤周一記念講演会(2022年5月14日開催)は姜尚中氏をお招きした。演題は「剣には剣か、ペンは無力なままか—今加藤周一に学ぶ平和の作法」。対面(キャンパスプラザ京都)とオンライン(Zoom ウェビナー)のハイブリッドで開催し、対面は189名、オンラインは451名が参加。

**加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む(立命館大学図書館共催):**22年3月で33回目を迎えた。聴衆は対面・オンラインを合わせて常時約60名が参加。

**加藤周一研究会:**劉争氏(関西国際大学講師)をお招きし、「加藤周一『日本文学史序説』の「例外」とその両義性をめぐる問い」という演題で、9月22日、対面(末川会館第二会議室)とオンライン(Zoom)のハイブリッドで研究会を開催した。

**東京大学東アジア藝文書院との公開共同研究会:**「日本の知識人、その宗教と周辺—鶴見俊輔・加藤周一・林達夫」と題して、2022年3月15日、対面(東京大学駒場キャンパス101号館11号室)とオンライン(Zoom ウェビナー)で開催。

**図書館・加藤文庫内展示(立命館大学図書館との共同企画):**加藤周一文庫所蔵のプラハ侵攻に関する資料やノートを「加藤周一が見たプラハの春からプラハ侵攻まで」(2022年4月12日-5月31日)にて展示した。加藤周一文庫所蔵の署名入り献呈本を「署名入り献呈本に見る加藤周一の交友関係(作家編)」として展示(2022年12月16日-2023年1月31日)。

**加藤周一『日本文学史序説』自主ゼミ:**『日本文学史序説』を精読し、津田左右吉『文学に現はれたる我が国民思想の研究』との比較も行う。8月の夏季休暇を除き月に一度開催。

## (3) 東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センターとの研究協定:第5回共同企画展示「知識人の自己形成—丸山眞男・加藤周一の場合」第2部を図書館内とWEBのハイブリッドで展示した。本共同企画展示第1部・第2部は鷲巢力顧問・山辺春彦氏(丸山センター特任講師)の共著『丸山眞男と加藤周一—知識人の自己形成』として筑摩書房より23年3月に刊行。

## (4) 科研費:「フランス実存主義哲学の日本でのじゅようについての基礎的研究」(基盤C:代表 加國尚志 2023-2025年)

## II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	加國 尚志	文学部	教授	
運営委員	鷺巣 力	衣笠総合研究機構	研究顧問	
	小関 素明	文学部	教授	
	岡本 雅史	文学部	教授	
	西岡 亜紀	文学部	教授	
	北村 順生	映像学部	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	根津 朝彦	産業社会学部	准教授	
	福間 良明	産業社会学部	教授	
	住田 翔子	産業社会学部	准教授	
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	半田 侑子	衣笠総合研究機構	研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	大学院生	西澤 忠志	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
		福井 優	文学研究科	博士課程後期課程
		落合 優翼	文学研究科	博士課程後期課程
		狩野 晃一	文学研究科	博士課程前期課程
		蛸子 良風	文学研究科	博士課程後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)	猪原 透	文学部	授業担当講師
		中川 成美	文学部	授業担当講師
客員協力研究員	樋口 陽一	東京大学	名誉教授	
	三浦 信孝	日仏会館	顧問	
	彭 佳紅	帝塚山学院大学	教授	
	ジュリー・ブロック	京都工芸繊維大学	名誉教授	
	桜井 均	映像ジャーナリスト		
	川口 雄一	成蹊大学法学部・創価大学法学部	非常勤講師	
	龍澤 武	東アジア出版人会議	理事	
	石塚 純一	札幌大学	名誉教授	

	宮村 治雄	成蹊大学アジア太平洋研究センター	客員研究員
	片岡 大右	慶應義塾大学商学部	非常勤講師
	落合 勝人	株式会社集英社新書編集部	編集長
	李 成市	在日韓人歴史資料館	館長
	山口 智也	NHK 政策局	ディレクター
	金子 元	秀明大学	非常勤講師
	山辺 春彦	東京女子大学	講師
	孫歌	中国社会科学院文学研究所	研究員
	王中忱	中国清華大学人文社会科学学院	教授
	林慶澤	韓国国立全北大学校	教授
	翁家慧	北京大学	副教授
	岩津航	金沢大学人間社会研究域	教授
	劉 争	関西国際大学	講師
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	野口 雅弘	成蹊大学	教授
	富山 仁貴	大阪教育大学	非常勤講師
研究所・センター構成員 計 40 名 (うち学内の若手研究者 計 6名)			

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2023年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	鷲巣力	書く力 加藤周一の名文に学ぶ	単著	2022年	集英社		総328頁
2	鷲巣力	丸山眞男と加藤周一	共著	2023年	筑摩書房	山辺春彦	総304頁
3	加國尚志	視覚と間文化性	共編著	2023年3月	法政大学出版局	亀井大輔(編者)	総342頁
4	福間良明	司馬遼太郎の時代	単著	2022年	中央公論新社		総296頁
5	山辺春彦	近現代日本思想史「知」の巨人100人の200冊	共編著	2023年	平凡社	和田博	総360頁
6	Yoichi Higuchi	Valeurs et technologie du droit constitutionnel	単著	2022年	Société de Législation Comparée		総154頁
7	樋口陽一	戦後憲法史と並走して-他分野交流と環海往還の小・自分史	単著	2023年	岩波書店		総230頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	鷲巣力	壮大な挑戦と平俗な蹉跎-加藤周一が見た横光利一	単著	2023年	横光利一研究21		pp. 1~22	無
2	鷲巣力	「加藤周一文庫」と加藤周一の方法	単著	2023年3月	加藤周一現代思想研究センター報告 準備号		pp. 1-20	無

3	加國尚志	加藤周一の「眼」と「耳」	単著	2023年3月	加藤周一現代思想研究センター報告 準備号		pp. 21-29	無
4	加國尚志	密着における乗り越え-メルロ＝ポンティ『パロールの問題一九五三-一九五四コレージュ・ド・フランス講義ノート』についての考察	単著	2022年12月	立命館文学 680号		pp. 345-364	無
5	小関素明	加藤周一の死生観の相貌	単著	2023年3月	加藤周一現代思想研究センター報告 準備号		pp. 31-39	無
6	福間良明	井川充雄著『帝国をつなぐ(声)』(書評)	単著	2022年	社会学評論 73(3)		pp. 309-310	無
7	Youichi Higuchi	La théorie constitutionnelle du Prof. René Capitant	単著	2022年	Jus Politicum 26		pp. 98-115	無
8	三浦信孝	初出主義の重要性-加藤周一文庫の『羊の歌』講読会と「加藤周一おしゃべりの会」をつなぐ	単著	2023年3月	加藤周一現代思想研究センター報告 準備号		pp. 115-125	無
9	李成市	「在日」にとって古代史とはなんであったのか	単著	2022年	抗路		pp. 98-115	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	鷺巣力	林達夫と聖フランチェスコ、加藤周一とカソリック	2022年	東京大学東アジア藝文学院公開研究会	
2	小関素明	災害と人文社会科学が向き合うべき課題-災害は民主政治にどのような影響を及ぼすのか-人文社会学の意義を見つめ直す	2022年	立命館大学土曜講座	朱雀花子、草津紀子

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第5回加藤周一記念講演会	キャンパスプラザ京都(対面+オンライン)	2021年7月	対面189名、オンライン254名	
2	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年4月	約60名	
3	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年5月	約60名	
4	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年6月	約60名	
5	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年7月	約60名	
6	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年9月	約60名	
7	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年10月	約60名	
8	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年11月	約60名	
9	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2022年12月	約60名	
10	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2023年1月	約60名	
11	加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む	立命館大学(対面+オンライン)	2023年2月	約60名	

12	加藤周一文庫公開講演会『羊の歌』を読む	立命館大学 (対面+オンライン)	2023年3月	約60名	
13	加藤周一文庫公開講演会『羊の歌』を読む	立命館大学 (対面+オンライン)	2023年3月	約60名	
14	立命館大学土曜講座	立命館大学 (オンライン)	2023年3月	約100名	

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1				

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	鷲巣力	東北アジアにおける戦後日本思想——加藤周一、丸山眞男、竹内好、鶴見俊輔を軸として	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
2	鷲巣力	身振り言語に見る戦後日本の知識人——加藤周一、丸山眞男、鶴見俊輔を例にして	挑戦的研究(萌芽)	2021年7月	2024年3月	代表
3	岡本雅史	社会的ヘテロフォニーとしての漫才対話～オープンコミュニケーションの超分節性の解明	基盤研究(C)	2017年7月	2023年3月	代表
4	西岡亜紀	1940年代の若手文学者ネットワークと「世界文学」概念：福永武彦を軸に	基盤研究(C)	2019年4月	2023年3月	代表
5	中川成美	世界文学と日本文学—情動理論の共有を基礎として	基盤研究(C)	2020年4月	2024年3月	代表
6	根津朝彦	日本ジャーナリスト会議 (JCJ) の戦後ジャーナリズム史研究 研究課題	基盤研究(C)	2020年4月	2023年3月	代表
7	福間良明	「中年文化」の戦後メディア史に関する歴史社会学的研究	基盤研究(B)	2022年4月	2027年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	半田侑子	近代日本知識人の「母」——加藤周一・丸山眞男・鶴見俊輔の母たち	サントリー文化財団 2022年度「研究助成「学問の未来を拓く」」	2022年8月		代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	立命太郎	特許(国内)	本人単独	筆頭発明者	****	****	****	日本